

長岡造形大学

一般入学試験

「前期日程」「中期日程」

学生募集要項

平成30年度
長岡造形大学
一般入学試験
〔前期日程〕〔中期日程〕
学生募集要項

目次

建学の理念について	3
アドミッションポリシー	3
一般入学試験で求める人物像	3
募集人員	4
選考日程	4
出願資格	4
出願方法	4
入学検定料および納入方法	4-5
出願書類および記入上の注意	5
選考方法・試験科目等	6
試験会場案内	6
試験科目・配点表	7
試験科目インフォメーション	8
作品等を持参する場合の注意事項	9
合格発表	9
入学手続	9
入学手続期間	9
追加合格	9
出願・受験についての諸注意	10
初年度納付金	11
個人成績の開示	12
入学願書記入例	13
高等学校等コード表、予備校等コード表	14-23
長岡造形大学入学試験出願資格認定審査要項	24-25
一般入学試験 模擬問題	26-31
入学試験に関する問い合わせ	33

巻末

- ・ 個人別成績開示申請書
- ・ 一般入学試験〔前期日程〕選択A 入学願書（入学志願票・写真票・振込依頼書・振込金（兼手数料）受取書）
- ・ 一般入学試験〔前期日程〕選択B 入学願書（入学志願票・写真票・振込依頼書・振込金（兼手数料）受取書）
- ・ 一般入学試験〔中期日程〕選択C 入学願書（入学志願票・写真票・振込依頼書・振込金（兼手数料）受取書）
- ・ 受験票等返送用封筒
- ・ 出願用封筒〔前期日程〕
- ・ 出願用封筒〔中期日程〕

個人情報の取扱いについて

ご提出いただいた書類等の個人情報は、受験票や合否通知、入学手続書類等の送付、書類記載事項についての確認、その他本人および保護者への連絡、情報の伝達に用います。

またご提出いただいた情報は、本学とその業務の委託を受けた業者において責任を負うこととし、業務委託する業者とは「委託契約」を締結し、情報の管理、利用保護に努めます。

建学の理念

造形を通して真の人間の豊かさを探求し、これを社会に還元することのできる創造力を備えた人材を養成する。

学位授与方針（ディプロマポリシー）

社会の要請を的確に認識し様々な課題に対して創造的な解決策を提示するための3つの力「社会人基礎力」「構想力」「造形力」を養うことを教育の目標とします。

これらの能力の獲得を目的とする授業科目を履修し、卒業要件単位を修得した者に学士課程学位を授与します。

教育目標に掲げる3つの能力

1. 社会人基礎力

自然・人、社会・人との関わりに関心を持ち、主体的、自律的、継続的な学修ができ、論理的、多面的に物事を考え抜き、状況を判断し、責任感と協調性をもって行動できる。

2. 構想力

人と造形との関係を追究する専門的・横断的な知識を身につけ、「問題の発見、原因の究明、解決への構想、試行及び検証」を行うことができる。

3. 造形力

人・もの・自然に対する豊かな感性を備えて、「思い」を形にする伝達技術としての表現ができる。

教育課程の編成方針（カリキュラムポリシー）

- 地域・社会や企業と連携した実践的なデザインプロジェクトにより、社会人基礎力を養成する「地域・社会連携系」科目を拡充します。
- 構想力を重視したデザインプロセスを総合的に学ぶ演習・実習科目を強化します。
- 複合的な造形力修得のための横断的科目の充実を図ります。

アドミッションポリシー

社会において創造的役割を担いたいとの強い気持ちを抱き、基礎的な学力・表現力及び学ぶ意欲を持ち、長岡造形大学でのカリキュラムを通してその実現に向けた力を養いたいと思う者を広く受け入れる。

一般入学試験で求める人物像

本学の建学の理念を理解し、学修意欲を持って本学入学を希望する者で、学力、描写力、基礎的デザイン適性、文章表現力などの能力を持つ人物。

募集人員

学部	学科	前期日程人数	中期日程人数
造形学部	プロダクトデザイン学科	14	4
	視覚デザイン学科	51	17
	美術・工芸学科	14	4
	建築・環境デザイン学科	21	5
計		100	30

選考日程

日程	出願期間	試験日	合格発表
前期日程	平成30年1月22日(月)～ 1月31日(水)	平成30年2月25日(日)	平成30年3月2日(金)
中期日程		平成30年3月8日(木)	平成30年3月20日(火)

出願資格

次のいずれかに該当し、かつ平成30年度大学入試センター試験で本学が指定した教科・科目を受験した者

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月までにこれに該当する見込みの者

出願方法

出願書類を一括取り揃え、入学検定料を納入し、書類は本学所定の出願用封筒を使用して、必ず書留速達で郵送してください。ただし、やむを得ない場合は本学入試課に持参しても構いません。(窓口受付時間・・・8:30から17:00まで。土曜日・日曜日・祝日の受付は行いません)

※出願書類は出願期間最終日17:00必着

入学検定料および納入方法

(1) 入学検定料 17,000円

(2) 納入方法

- ・ 本学所定の用紙(振込依頼書)を使用し、必要事項を記入の上、最寄りの銀行・信用金庫等の金融機関(ゆうちょ銀行を除く)から本学指定口座に振込んでください。ATMは使用しないでください。
- ・ 振込手数料は志願者の負担となります。
- ・ 取扱金融機関収納印のないものは無効です。
- ・ 「振込金(兼手数料)受取書」は領収書となるので、大切に保管してください。
- ・ 一旦納入された入学検定料は以下①～⑤の場合を除き返還しません。①～③に該当する場合は入学検定料17,000円から返還にかかる振込手数料を差し引いて返還します。返還を希望する場合は平成30年2月7日(水)までに本学入試課に問い合わせをしてください。下記④⑤による場合、返還手続に必要な書類は本学から送付します。

- ① 入学検定料を払い込んだが本学に出願しなかった場合
- ② 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ③ 出願書類、出願要件に不備があり、出願を受理されなかった場合

- ④ 本学の出願書類受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等により出願資格がないことが判明した場合、13,000円を返還します
- ⑤ 2段階選抜を実施し、第1段階選抜の結果、不合格となった場合、13,000円を返還します

出願書類および記入上の注意

①入学志願票	<input type="checkbox"/> 巻末の用紙から該当する選択区分のものを選び、使用してください。 <input type="checkbox"/> 記入にあたっては、P.13「入学願書記入例」を参照してください。 <input type="checkbox"/> 選択Aで出願する者は、「平面構成」または「鉛筆描写」を選択し、試験科目の欄に番号を記入してください。 <input type="checkbox"/> 平成30年度大学入試センター試験受験番号欄に平成30年度大学入試センター試験の受験番号を記入してください。 <input type="checkbox"/> 氏名のフリガナの欄は、濁点「 ^ˆ 」、半濁点「 ^ˆ 」も1文字分として記入してください。また小文字も大文字として記入してください。 <input type="checkbox"/> 生年月日及び卒業等年の欄は、1桁の場合、10の位に「0」を記入してください。 <input type="checkbox"/> 高等学校等コードの欄は、P.14「高等学校等コード表」を参照のうえ、正確に記入してください。 <input type="checkbox"/> 高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者含む）の卒業等年の記入は3.高認合格を選択してください。 <input type="checkbox"/> 予備校等に通っていた者は、予備校等コードの欄に、P.23「予備校等コード表」を参照のうえ、正確に記入してください。 <input type="checkbox"/> 住所の欄は、確実に連絡できる場所を記入してください。
②写真票・振込依頼書 振込金(兼手数料)受取書	<input type="checkbox"/> 巻末の用紙を使用してください。 <input type="checkbox"/> 振込依頼書の氏名(カナ)欄に学科番号を忘れずに記入してください。 <input type="checkbox"/> 選択Aで出願する者は、写真票の試験科目の欄の「平面構成」または「鉛筆描写」のいずれかを○で囲んでください。
③調査書	<input type="checkbox"/> 出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 <input type="checkbox"/> 高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者含む）は、合格証明書および合格成績証明書を提出してください。 <input type="checkbox"/> 高等学校卒業程度認定試験合格見込者は合格見込成績証明書を提出してください。 ※卒業後5年を経過し、調査書が発行できない場合は、卒業証明書および成績証明書を提出してください。成績証明書も発行できない場合は調査書が発行できない旨を証明する書類を高校から発行してもらい、提出してください。
④写真1枚	<input type="checkbox"/> 正面上半身脱帽の写真(タテ4cm×ヨコ3cm裏面に氏名を記入)で、出願3か月以内に撮影したものを写真票の所定の欄に貼付してください。 (前期日程と中期日程を併願する場合は2枚必要です)
⑤平成30年度センター 試験成績請求票	<input type="checkbox"/> 前期日程志願者は「国公立前期日程用」、中期日程志願者は「公立大学中期日程用」を写真票の所定の欄に貼付してください。
⑥受験票等返送用封筒	<input type="checkbox"/> 本学所定の封筒を使用してください。郵便番号、住所、氏名を記入し、362円分の切手を貼付してください。(前期日程と中期日程を併願する場合は2通必要です)

※一旦提出された出願書類等は、どのような理由があっても返還しません。

※出願用封筒には前期日程用と中期日程用の2種類があります。前期日程および中期日程を併願する場合は、出願書類一式を各封筒に入れて郵送してください。

選考方法・試験科目等

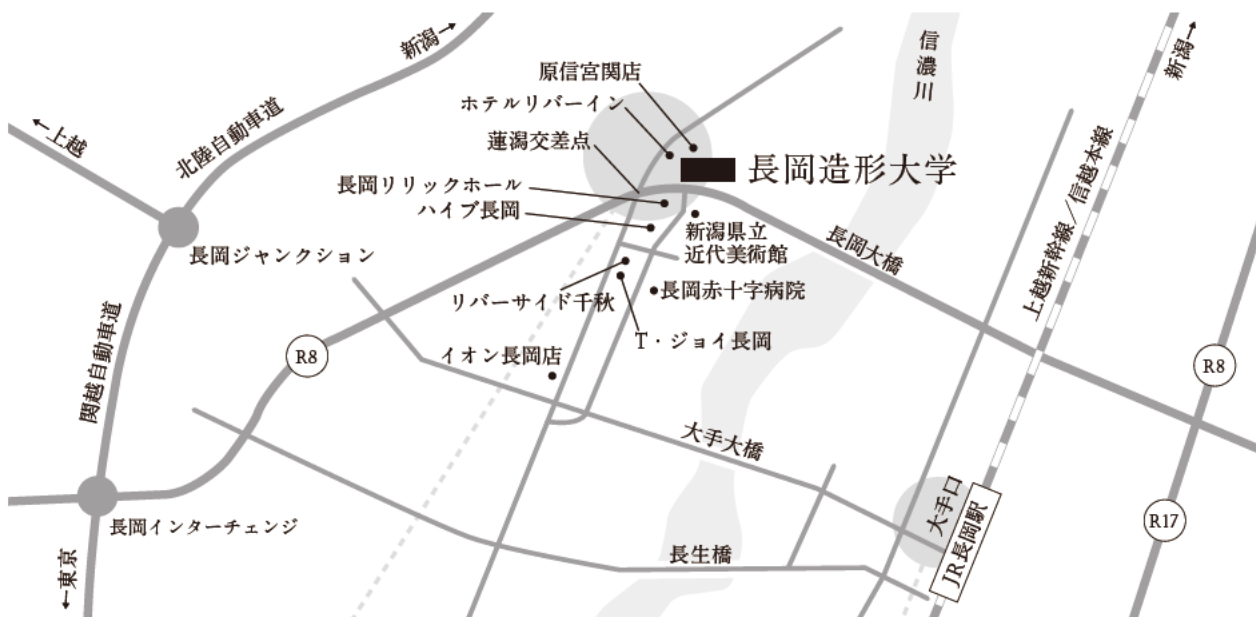
選考方法	平成30年度大学入試センター試験の成績、出願書類及び個別学力検査等の成績を総合して合否を判定します。 学科ごとに前期日程3倍、中期日程8倍の志願倍率を超えた場合、平成30年度大学入試センター試験の成績により2段階選抜を行うことがあります。2段階選抜実施の有無、合否については、前期日程は平成30年2月7日(水)まで、中期日程は2月20日(火)までに志願者全員に通知書を発送します。			
前期日程	選択A	個別学力検査等	平面構成または鉛筆描写	
		集合時刻	9:00	試験時間 9:30～12:30 (180分)
中期日程	選択B	個別学力検査等	小論文	
		集合時刻	9:00	試験時間 9:30～11:00 (90分)
中期日程	選択C	個別学力検査等	面接 (20分程度)	
		集合時刻	大学が指定する時刻を受験票発送時に通知します (午前または午後のいずれかで、志願者は選択できません)。	

※大学入試センター試験科目についてはP7「試験科目・配点表」、個別学力検査等の出題内容・持参用具については、P8「試験科目インフォメーション」を参照してください。

試験会場案内

長岡造形大学

アクセス 越後交通路線バス：JR長岡駅大手口2番バス乗り場から、江陽環状線または江陽団地行きに乗車、約15分、「長岡造形大学前」下車、徒歩約1分。料金260円(片道)。



●大学付近案内



●長岡駅大手口バス乗り場



※所要時間はあくまでも目安です。

試験科目・配点表

日程	平成30年度 大学入試センター試験の利用教科・科目名等				個別学力検査等		合計		
	教科	科目等		配点	科目	配点			
前期	選択A	国語	「国語」 近代以降の文章、古典（古文、漢文）全て	必須	100点 (200点満点を100点満点に換算する)	「平面構成」 「鉛筆描写」 から1科目 選択	300点	500点	
		外国語	「英語」 リスニングを含む	必須	100点 (250点満点を100点満点に換算する)				
	選択B	国語	「国語」 近代以降の文章、古典（古文、漢文）全て	必須	100点 (200点満点を100点満点に換算する)	小論文	100点	500点	
		外国語	「英語」 リスニングを含む	必須	100点 (250点満点を100点満点に換算する)				
		地理歴史 ※2	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」	得点 上位 の 2 科目 ※1	1科目100点 合計200点				
		公民 ※2	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・ 経済」						
		数学	「数学I」「数学I・数学A」 「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」						
		理科 ※2※3	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」						
	中期	選択C	国語	「国語」 近代以降の文章、古典（古文、漢文）全て	必須	150点 (200点満点を150点満点に換算する)	面接	150点	500点
			外国語	「英語」 リスニングを含む	必須	100点 (250点満点を100点満点に換算する)			
地理歴史 ※2			「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」	得点 上位 の 1 科目 ※1	100点				
公民 ※2		「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・ 経済」							
数学		「数学I」「数学I・数学A」 「数学II」「数学II・数学B」 「簿記・会計」「情報関係基礎」							
理科 ※2※3		「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 「物理」「化学」「生物」「地学」							

※1 大学入試センター試験の得点上位の科目は本学で自動的に選択し採用します。

※2 地理歴史、公民及び理科の基礎を付さない科目を採用する場合は第1解答科目に限ります。

※3 理科の基礎を付す科目は、2科目の合計点を1科目とします。

試験科目インフォメーション

平面構成	出題範囲	平面構成
	試験時間	180分
平面構成	出題趣旨	平面を構成する造形力及び、色彩感覚の能力を見る。
	出題内容	テーマに基づき、支給されるイラストレーションボードに平面構成を行う。
	評価のポイント	テーマに対しての独自の発想力 テーマに即した色彩表現 対比・調和・動きなどを含む画面構成力
	志願者が持参するもの (記載のないものは使用不可)	不透明水彩絵の具、筆(平筆、丸筆、面相筆など)、絵の具皿またはパレット、筆記用具(鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム)、鉛筆削り用具(カッター等)、コンパス、三角定規(1組)、30cm直定規、筆洗バケツ、雑巾 ※水差し持参可
大学で用意するもの	ケント紙イラストレーションボード、草案用紙等	
鉛筆描写	出題範囲	鉛筆デッサン
	試験時間	180分
	出題趣旨	発想力、描写力、画面構成力を見る。
	出題内容	設問に従って画用紙ボードに描写する。
鉛筆描写	評価のポイント	コンポジション・バランス・スペースなどを意識した画面構成力 モチーフ各々のプロポーション把握力 質感表現力
	志願者が持参するもの (記載のないものは使用不可)	鉛筆(黒各種)、消し具(消しゴム、練り消しゴム)、鉛筆削り用具(カッター等) ※羽根ぼうきまたはブラシ持参可
	大学で用意するもの	画用紙ボード、草案用紙等
小論文	試験時間	90分
	出題趣旨	理解力、発想力、構想力及び文書表現力を見る。
	出題内容	出題された文章を読み、設問に従って、800文字程度の範囲内で論述する。
	評価のポイント	出題意図を正しく理解できているか 論理的な思考ができているか 着眼点や説得力に優れているか 正しい文章表現がなされているか
小論文	志願者が持参するもの (記載のないものは使用不可)	筆記具(Bの鉛筆・シャープペンシル、消しゴム)
	面接方式	20分程度 個別面接(志願者1人に対し、面接官複数人)
面接	評価のポイント	本学への志望動機、志望する分野への理解度及びコミュニケーション能力を見る。
	その他	自己アピール等に必要の場合は作品等を持参してください。(P.9「作品等を持参する場合の注意事項」参照)

作品等を持参する場合の注意事項

以下の条件を遵守してください。条件を守らない場合、入学試験の運営に支障をきたす可能性がありますので、作品等の学内への持ち込みをお断りすることがあります。

- 志願者単独で、台車等の用具を使わずに持ち運びができること
- 階段を上階まで独力で持ち運べること（エレベータは使用できません）
- 作品の運搬等で歩行に制約がないこと
- 梱包等の開梱に時間を要しないこと
- 面接時間内に独力で提示できること（用具の貸し出しは行いません）
- 大学の施設を破損または汚損しないこと
- 容易に破損するような脆弱な作品でないこと（作品が破損した場合でも大学は責任を負いません）

合格発表

合格発表日 13:00 に、本学学生エントランスに合格者の受験番号を掲示するとともに本学ホームページに掲載します。なお、合否結果は志願者全員に速達郵便にて通知します。

電話あるいは直接の問い合わせには一切応じません。

入学手続

合格者には合格通知とともに入学手続書類を送付します。下記の入学手続期間内に、入学手続時納付金を納入し、入学手続に必要な書類を必ず書留速達で郵送により手続を行ってください。

（入学手続時納付金については、P.11「初年度納付金」を参照）

一旦納付された入学料は返還しません。

入学手続期間

日程	入学手続期間
前期日程	平成30年3月5日（月）～3月9日（金）
中期日程	平成30年3月22日（木）～3月27日（火）

※入学手続書類は入学手続期間最終日 17:00 必着

注意事項：入学手続期間内に入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものと取り扱います。

なお、入学手続完了後に、本学および他の国公立大学の前期・中期・後期日程試験を受験してもその合格者とはなりません。

※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/>）参照

追加合格

入学手続き状況により欠員が生じた場合、3月28日（水）から追加合格により欠員を補充します。この場合、合格通知は入学志願票に記載された電話番号に電話連絡します。入学の意思については直接本人に確認しますので、確実に連絡が取れるようにしておいてください。

出願・受験についての諸注意

出願について

1. 出願書類受付後の変更は認めません。
2. 下見のための試験会場への立ち入りはできません。
3. 受験票が試験日の3日前までに届かない場合は、本学入試課まで問い合わせてください。
4. 入学試験のために宿泊が必要な場合は、志願者自身で手配してください。
5. 身体等に障がいのある志願者で、受験および修学上特別の配慮を必要とする場合は、出願前に十分時間に余裕を持って本学入試課に相談してください。
6. 入学願書に記載した住所に変更が生じた場合は、直ちに本学入試課に申し出てください。
7. 出願上不明な点があるときは、本学入試課に問い合わせてください。
8. 国公立大学の推薦入学試験またはアドミッションオフィス入学試験の合格者は、当該大学の入学辞退の許可を得た場合を除き、他の国公立大学を受験しても合格者にはなりません。(重複して入学手続を行った事実が判明した場合は、入学許可を取り消されることがあります)
9. 同一日程グループ内に属する複数の大学・学部に出願することはできません。
10. 本学の前期日程と中期日程の併願は可能です。
11. 国公立大学の前期日程の試験に合格し、3月15日(木)までに入学手続を行った者は、公立大学中期日程の試験を受験しても、合格者とはなりません。

受験について

1. 試験当日は必ず受験票を持参してください。受験票を紛失したり、試験当日忘れた場合は、必ず係員に申し出てください。
2. 試験室への入室は、集合時刻までに行い、入室後受験番号と同じ番号の席に着き、受験票を机の受験番号のわきに置いてください。
3. 前期日程は試験開始時刻から20分以上遅刻した場合、中期日程は集合時刻から20分以上遅刻した場合、受験を認めません。ただし、試験当日交通機関の事故、災害等やむを得ない事情により、試験開始時刻に到着できない場合には、直ちに本学に電話連絡をし、指示を受けてください。(電話番号はP.33「入学試験に関する問い合わせ」参照)
4. 試験時間中の退室は認めません。
5. 試験室には時計が設置してありません。必要な場合は各自で持参してください。ただし、携帯電話および計算機能・翻訳機能の付いた時計等の使用は認めません。
6. 昼食が必要な者は、各自用意してください。
7. 入学試験当日、会場付近で電報(合格通知)の勧誘や印刷物の配布等があったとしても、本学とは一切関係がありません。トラブルのないよう十分注意してください。
8. 付添者の控室はありません。

初年度納付金

【長岡市内在住者】

内 訳		入学手続時納付金	後 期 分	備 考
入 学 料		141,000 円	—	入学時のみ
授 業 料		267,900 円	267,900 円	
実 習 料		25,000 円	25,000 円	
代 理 徴 収	学生会費	4,000 円	—	
	保護者会費	10,000 円	—	
	校友会費	10,000 円	—	
合 計		457,900 円	292,900 円	

【長岡市外在住者】

内 訳		入学手続時納付金	後 期 分	備 考
入 学 料		282,000 円	—	入学時のみ
授 業 料		267,900 円	267,900 円	
実 習 料		25,000 円	25,000 円	
代 理 徴 収	学生会費	4,000 円	—	
	保護者会費	10,000 円	—	
	校友会費	10,000 円	—	
合 計		598,900 円	292,900 円	

※「長岡市内在住者」とは、平成30年4月1日現在において、本人又はその配偶者若しくは1親等の親族が引き続き1年以上長岡市内に住所を有している人をいいます。

※入学手続時納付金は入学手続期間内に納付していただくものです。

※後期分については10月下旬頃、口座振替（入学後に手続）により納付していただきます。

個人成績の開示

志願者本人から申請があった場合、平成30年度入学試験の個人成績を以下の要領で開示します。

1. 開示する内容

次の①および②を開示します。

- ① 一般入学試験個別学力検査等の得点
- ② 大学入試センター試験の科目別得点のうち、本学が合否判定に利用した科目の換算後の総合得点

2. 申請期間

平成30年5月7日(月)～6月29日(金) ※期間内必着

3. 申請方法

大学窓口で直接申請する方法と郵送で申請する方法があります。どちらも開示結果は1週間程度で簡易書留にて郵送します。

(1) 窓口で直接申請（申請者は志願者本人に限ります）

必要書類等を用意し、開示期間の土・日・祝・大学休業日を除く午前8時30分から午後5時までに本学の事務局窓口で申請してください。なお、事前に本学入試課まで連絡をしてからお越しください。(入試課 Tel. 0258-21-3331)

(2) 郵送で申請

必要書類等を本学入試課宛に郵送してください。

【必要書類等】

- ① 個人別成績開示申請書（本要項の巻末・必要事項を記入）
- ② 本学受験票
- ③ 現住所確認書類（住民票、保険証(写)、運転免許証(写)、公共料金の領収書(写)のいずれか)
- ④ 返送用封筒（長3封筒に392円分の切手を貼り、志願者本人の住所氏名を記入）

※他の入学試験と同時に開示を申請する場合は402円分の切手を貼る

【個人別成績開示申請先】 長岡造形大学 入試課

〒940-2088 新潟県長岡市千秋4丁目197番地

入学願書記入例

平成30年度 長岡造形大学 入学志願票 一般入学試験「前期日程」選択A

志望学科	1301	1302	1303	1304	1305	1306	1307	1308	1309	1310
試験会場	1 長岡造形大学									
試験科目	4 5 9									
平成30年度大学 一般入学試験 試験受験番号	200011-1001X-1									
フリガナ	ナカノ オカサキ									
氏名	長岡 千秋									
生年月日	1999	年	05	月	20	日	性別	2	1	男
高等学校等 コード	15000N 長岡造形									
卒業年度	2018 年 03 月 2									
課程	1 全日制 2 定時制 3 通信制 4 その他									
学科	7 1 普通 2 商業 3 工 4 農 5 総合 6 美術 7 アデザイン 8 その他									
予備校等 コード	15999 長岡造形予備校									
郵便番号	940-2088									
電話番号	0258-21-3331									
携帯電話番号	090-XXXX-XXXX									
住所	新潟県長岡市千秋4丁目197番地									
入学料	¥17,000円									

記入上の注意

- この用紙は直接コンピュータで処理しますので折り返し、折り返ししないでください。
- 文字は枠内に丁寧に記入し、記入欄のないように注意してください。
- ※印刷は記入しないでください。

数字見本 **0123456789**

写真票

平成30年度 長岡造形大学
一般入学試験「前期日程」選択A

受験番号	1301
志望学科	1301
試験科目	4 5 9
氏名	長岡 千秋

●記入上の注意事項
1. 試験科目は該当するものを選択し、○で囲んでください。
2. ※印刷は記入しないでください。

平成30年度
センター試験成績請求
国公立大学中期日程用

大学入試センター試験受験票を各申し込みに応じて
お寄せた成績請求票が国公立大学入試センター試験
に全面的に付いて丁寧に貼ってくださいます。

●記入上の注意事項
1. 試験科目は該当するものを選択し、○で囲んでください。
2. ※印刷は記入しないでください。

前期日程：国公立大学前期日程用
中期日程：公立大学中期日程用

→ 右側(写真票、振込依頼書、振込金受取書)は、黒ボールペンで記入してください。

← 左側(入学志願票)は、Bの鉛筆・シャープペンシルで濃く記入してください。

振込依頼書

平成30年度 長岡造形大学 入学料
振込金(兼手数料)受取書

依頼日	2018	年	1	月	13	日	電話区	〒170000			
振込先	北越銀行	江崎支店	金額	¥	17	000	取引名	長岡造形大学			
受取人	長岡造形大学	〒940-2088	口座番号	2029113	支店	1301	入試区分	一般【前期】A			
学科番号	1301	科目	1302	1303	1304	1305	1306	1307	1308	1309	1310
氏名(フリガナ)	ナカノ オカサキ										
氏名(漢字)	長岡 千秋										
住所	新潟県長岡市千秋4丁目197番地										
TEL	(0258) 21-3331										

●記入上の注意事項
1. 志願日、氏願者氏名、住所欄を必ず記入し、志願者の番号を○で囲んでください。
2. 氏名(フリガナ)欄には○で囲んで記入してください。
3. 入学料は入学料の「入学料」欄に記入してください。
4. 入学料は入金済みの場合は「入金済」欄に記入してください。
5. 入学料は入金済みの場合は「入金済」欄に記入してください。
6. 入学料は入金済みの場合は「入金済」欄に記入してください。

このまま切り離さずに金融機関に持参してください。入学検定料振込後、取扱金融機関取納印を確認してください。

高等学校コード表

・本表は、入学志願票の高等学校等コード欄の記入の欄に用いられること。
・本表のコードは、平成29年度大学入試センター試験受験案内から引用したものを一部改編しています。

Table with columns for school name, address, and code. Includes various schools such as 北海道立高等学校, 札幌学院大学, and others across different regions.

Table listing educational institutions in the Kansai region (Hokkaido, Tohoku, Kanto, Chubu, Kansai, Kyushu). Columns include school type (e.g., 高等学校, 専門学校), school name, location, and contact information.

Table listing educational institutions in the Chubu region (Aichi, Gifu, Shizuoka, Mie, Shiga, Tokai, Echigo). Columns include school type, school name, location, and contact information.

Table listing educational institutions in the Kansai region (Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi). Columns include school type, school name, location, and contact information.

Table listing educational institutions in the Kansai region (Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima). Columns include school type, school name, location, and contact information.

Table listing educational institutions in the Kansai region (Chugoku, Shikoku). Columns include school type, school name, location, and contact information.

Table listing educational institutions in the Kansai region (Iwate, Miyagi, Akita, Yamagata, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Saitama, Chiba, Tokyo). Columns include school type, school name, location, and contact information.

Table containing school information for various institutions across Japan, including names, addresses, phone numbers, and organizational types. The table is organized in columns with headers for different regions or school types.

Table containing school information for various institutions across Japan, including names, addresses, phone numbers, and organizational types. The table is organized in columns with headers for different regions or school types.

Table containing school information for various institutions across Japan, including names, addresses, phone numbers, and organizational types. The table is organized in columns with headers for different regions or school types.

高等学校卒業程度認定試験等、外国の学校等、文部科学大臣の指定した者、認定、在外教育施設、専修学校の高等課程

51000K	高等学校卒業程度認定試験	高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成30年3月31日までに合格見込みの者
52000E	大学入学資格検定	大学入学資格検定に合格した者
53000A	外国の学校等	外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
54000F	文部科学大臣の指定した者	海技教育機構(旧海員学校)の本科を卒業した者及び平成30年3月31日までに卒業見込みの者、国際バカロレア資格取得者、アビトウ資格取得者、パカローラ資格(フランス共和国)取得者、GCEAレベル取得者等
55000A	認定	大学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの いわゆる「飛び入学」で大学に入学した者(学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者)であって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
56000G	在外教育施設	文部科学大臣が高等学校の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
57000H	専修学校の高等課程	専修学校の高等課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者

57000H	専修学校の高等課程	専修学校の高等課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
58000I	認定	大学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの いわゆる「飛び入学」で大学に入学した者(学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者)であって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
59000J	在外教育施設	文部科学大臣が高等学校の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
60000K	専修学校の高等課程	専修学校の高等課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者

※以下の要項は一般入学試験の出願資格(3)のうち学校教育法施行規則第150条第7号により出願しようとする者
にのみ適用される要項です。

長岡造形大学入学試験出願資格認定審査要項

学校教育法施行規則第150条第7号により本学造形学部の入学試験へ出願しようとする者は、事前に本出願資格認定審査を受け、出願資格を認定された場合に限り出願できるものとします。

出願資格認定審査の対象者

本学に入学する意思があり、18歳に達している者及び平成30年3月31日までに18歳に達する者で次の条件のいずれかを満たす者

- (1) 中学校卒業後、専修学校や各種学校等の教育施設で3年以上の学習をしている者
- (2) 社会における実務経験や資格を有している者
- (3) 日本の大学で科目等履修生として在籍中又は在籍していた者
- (4) その他本人が高等学校卒業と同等以上の学力を有すると思う者

申請に必要な書類

申請者全員に必要な書類

- ① 出願資格認定審査申請書（本学指定様式：本学に連絡し、取り寄せてください）
- ② 最終学歴の卒業（修了）証明書
- ③ 平成30年3月31日までに18歳に達することを証明することができる書類（運転免許証、健康保険証、パスポートのコピー等）

出願資格(1)に該当する者

- ・当該教育施設の教育課程がわかる書類及び当該学校での学習歴を証明できる書類

出願資格(2)に該当する者

- ・実務経験の期間及び内容を証明できる書類または、取得した資格を証明できる書類
- ・出願資格認定審査申請理由書

出願資格(3)に該当する者

- ・科目等履修生の在学（在籍）証明書及び単位取得証明書
- ・出願資格認定審査申請理由書

出願資格(4)に該当する者

- ・出願資格認定審査申請理由書

また複数の出願資格に該当する者は、それぞれの申請書類を合わせて提出してください。

審査方法

審査基準に基づき、提出された書類の内容を審査します。

審査基準

出願資格(1)に該当する者

当該学校での学習内容の授業時間数、履修科目、単位数が高等学校学習指導要領に準じているか。

出願資格(2)に該当する者

社会における実務経験や取得した資格の内容が、本学学部の教育目的、教育課程に照らし相応しい内容であるか。

出願資格(3)に該当する者

日本の大学の科目等履修生としての学習内容が、高等学校の基礎科目の理解がなされている内容であるか。

出願資格(4)に該当する者

本人から提出された書類の内容が、高等学校を卒業した者と同等以上であると思われる内容であるか。

また複数の出願資格に該当する者は、それぞれの提出書類の内容を総合的に審査します。

申請書類の提出方法

申請書類を一括取り揃え、必ず書留にて郵送してください。また、封筒の表に「出願資格認定審査申請書類 在中」と朱書してください。ただし、やむを得ない場合は本学入試課まで持参しても構いません。

(窓口受付時間 8:30 から 17:00 まで。土曜日・日曜日・祝日の受付は行いません)

申請書類の受付期間

平成29年12月15日(金)まで

審査結果の通知

審査結果については、申請後概ね1ヶ月以内に申請者宛に郵送により通知します。出願資格が認められた者には、「長岡造形大学出願資格認定書」を送付します。「長岡造形大学出願資格認定書」の交付を受けた者は、本学造形学部の入学試験に出願することができます。入学試験に出願の際は必ず、「長岡造形大学出願資格認定書」のコピーを出願書類に添付してください。

その他

個別審査の時点において学習歴が修了見込である者が、認定を受け本学の入学試験に合格し本学に入学する場合には、改めて必要な書類の提出を求めます。

申請書類の請求、お問い合わせ先

P.33「入学試験に関する問い合わせ」を参照してください。

一般入学試験 模擬問題

平面構成 180分

- 志願者が持参したもの：不透明水彩絵の具、筆（平筆、丸筆、面相筆など）、絵の具皿またはパレット、筆記用具（鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム）、コンパス、三角定規（1組）、30cm 直定規、筆洗いバケツ、雑巾
- 大学で用意したもの：ケント紙イラストレーションボード、草案用紙 等

模擬問題 1 ※この問題は平成28年度一般入学試験〔前期日程〕で使用された問題を一部改編したものです。

〈問題〉

条件に従い、以下の要素全てを使って、美しい色彩構成をなさい。

- 任意の正円2つ
- 直線2本
- 任意の曲線1本

〈条件〉

- 1) 与えられたA3イラストレーションボード横位置中央に、縦210mm×横297mmの長方形を描き、その長方形内を画面とする。
- 2) 正円は画面に接しても良いが、はみ出してはならない。
- 3) 図形が重なる場合は、下の図形が分かるように表現する。
- 4) 直線、曲線には幅を持たせない。
- 5) 直線は画面内を貫いて引かれていること。
- 6) 曲線は始まりと終わりが画面の枠と接していること。
- 7) 使用する色数は自由。
- 8) 彩色は平塗とし、ぼかし、かすれ、にじみ等の表現は使用しない。
- 9) 画面内は余白を残さず彩色する。また、画面外は彩色せず、イラストレーションボードの白地のまま残すこと。
- 10) 指定された用具のみを使用する。

●作品例



模擬問題 2 ※この問題は平成29年度一般入学試験〔前期日程〕で使用された問題を一部改編したものです。

〈問題〉

条件に従い、以下の要素全てを用いて、あなたの好きな食べ物を一つ選び「おいしい」をテーマに色彩構成をなさい。

〈要素〉

- 自由な数の正円と直線
- 任意の曲線1本

〈条件〉

- 1) 与えられたA3イラストボード横位置中央に、縦210mm×横297mmの長方形を描き、その長方形内を画面とする。
- 2) 正円は画面からはみ出しても良いが、正円であることがわかる範囲とする。
- 3) 図形が重なる場合は、下の図形が分かるように表現する。
- 4) 直線、曲線には幅を持たせない。
- 5) 直線は画面内を貫いて引かれていること。
- 6) 曲線は始まりと終わりが画面の枠と接していること。
- 7) 使用する色数は自由。
- 8) 彩色は平塗とし、ぼかし、かすれ、にじみ等の表現は使用しない。
- 9) 画面内は余白を残さず彩色する。また、画面外は彩色せず、イラストボードの白地のまま残すこと。
- 10) 解答用紙表面の画面外左下余白に選んだ食べ物の具体的な名称を明示しなさい。
例 ×果物 ○バナナ
- 11) 画面外にはみ出した絵具は修正しないこと。
- 12) 指定された用具のみを使用する。

●作品例



チョコレートアイス

- 志願者が持参したもの：鉛筆（黒各種）、鉛筆入れ、消し具（消しゴム、練り消しゴム）、鉛筆削り用具（カッター等）※羽根ぼうきまたはブラシ持参可
- 大学で用意したもの：画用紙ボード、草案用紙 等

模擬問題 1 ※この問題は平成28年度一般入学試験〔前期日程〕で使用された問題を一部改編したものです。

〈問題〉

与えられたモチーフ（正方形の銀紙）と片手（左右どちらでも可）を以下の条件により画面内に鉛筆描写しなさい。

〈条件〉

- 1) 解答用紙の白い面に描いてください。
- 2) 解答用紙は、縦、横のいずれの向きで使用しても構いません。
- 3) 与えられたモチーフ（正方形の銀紙）は、次のことに注意して描いてください。
 - ・モチーフの扱いは自由に使用して構いません。
 - ・画面からはみ出して描いても構いません。
- 4) 陰影をつけ、立体的、空間的に描写してください。
- 5) 指示された用具のみを使用してください。

●作品例



模擬問題 2 ※この問題は平成29年度一般入学試験〔前期日程〕で使用された問題を一部改編したものです。

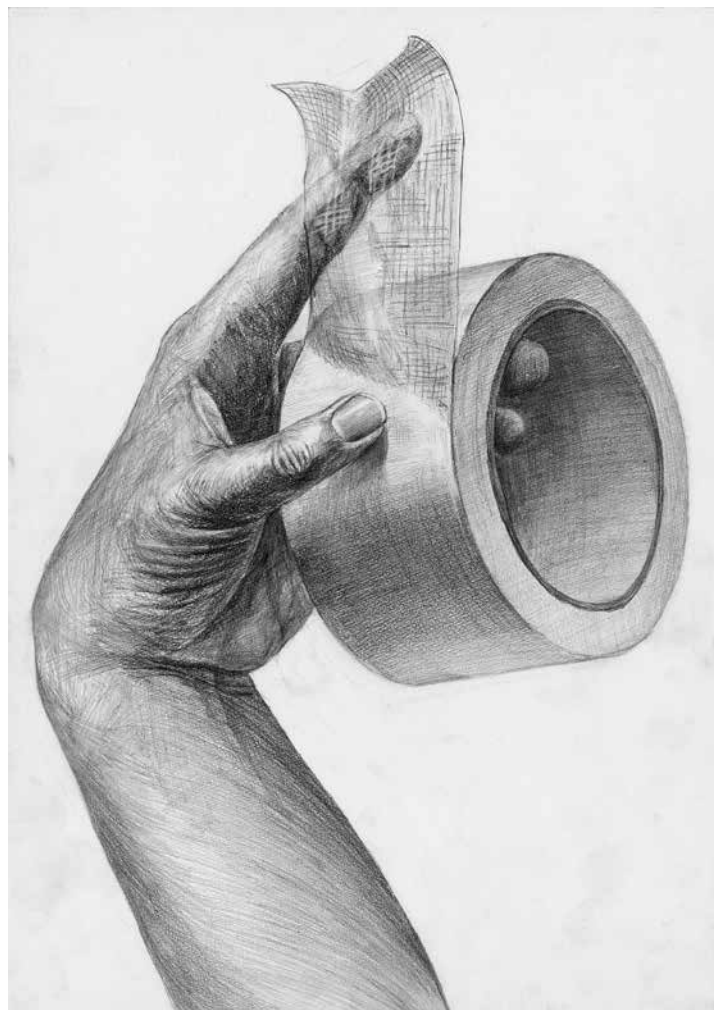
〈問題〉

与えられたモチーフ（養生テープ）と片手（左右どちらでも可）を以下の条件により画面内に鉛筆描写しなさい。

〈条件〉

- 1) 解答用紙（B3）の白い面に描くこと。
- 2) 解答用紙は、縦、横のいずれの向きで使用しても構いません。
- 3) 与えられたモチーフ（養生テープ）は、次のことに注意して描くこと。
 - ・モチーフの扱いは自由です。（養生テープの引き出し、切断等）ただし、養生テープを画面や机には貼りつけないこと。
 - ・画面からはみ出しても構いません。
- 4) 陰影をつけ、立体的、空間的に描くこと。
- 5) 指示された用具のみを使用すること。

●作品例



小論文 90分

- 志願者が持参したもの：筆記具（HBまたはBの鉛筆・シャープペンシル、消しゴム）
- 大学で用意したもの：解答用紙、草案用紙

模擬問題 1 ※この問題は平成28年度一般入学試験〔前期日程〕で使用された問題を一部改編したものです。

以下の文章は1932年に日本を訪れ3年間滞在したドイツの建築家ブルーノ・タウトが著した「日本美の再発見」という本の一節である。タウトは京都の桂離宮をはじめ日本の建築、絵画、生活など様々な分野において、ワビ・サビといった面だけではなく、その芸術性や、機能性、汎用性といった面にも目を向け、それらのすばらしさを国内外に紹介した。

下記の一節は、日本建築の特徴、特に住宅における床の間の特徴について著したものである。現代の日本の住宅では床の間の存在は薄れてはきたものの、自由さと規範を合わせ持つ本来の床の間や畳の部屋のありようは、これからも各方面で応用されていくだろう。

あなたがこの大学で学ぼうと思っているプロダクトデザイン、視覚デザイン、美術・工芸、建築デザインという領域を念頭におき、下線部にある“欠けている「住み心地よさ」”をどのようにしたら提供できると思うか、あるいはどのような空間をデザインしたいと考えているのか、10文字程度のタイトルとともに800字以内で記述せよ。

茶室からは、多くのものが住宅に取り入れられた。(中略) われわれはこれを住宅の静かな全体的落ち着きに見ることができる。すなわち京都において最も多く見られる真正の「茶趣味」がそれである。しかしこの趣味は、欄間の透し彫とか不自然な釣合、あるいは矮小奇異なものをいっさい排除する。かかる高雅な趣味は、禪に源を発するものとして「渋い」雰囲気、つまり諦観的な調和を要求するのである。

ここで私は、日本家屋のもつ特徴、すなわち日本の国土や、また昔ながらの伝統をそのまま保持している慣習と独自の調和を保っている特徴をくみだしく述べる必要はない。ただ「床の間」は、文化、芸術および精神的な所産を置くべき定め場所として、世界に冠絶した創造である。床の間は、いかなる時代いかなる国土においても模倣せられ、——たとえ形式を異にするにせよ、——継承せられるに値する絶対的な解決である。西洋の画家は、各人の意のままに制作する。しかし彼等は自分の作品を購う人がこれを何に用いるのか、またどこへ掛けるのかを知らない。ところが日本家屋では、絵画の用途と場所とは最初からきまっているのである。日本の部屋は、平常はいつも「虚」である。過去のどんな追憶も仄暗い隅々にまつわっていることがない。なるほどここには西洋の家屋に見られるような「住み心地よさ」は欠けている。数多くの家具、絨毯、カーテン、テーブルクロス、クッション、絵画、壁掛などは備えつけてない。部屋全体がすっかり開け放たれて、通気は自由である。それだからこそ、あたかも白い捏粉でも印したように、あるいは壁にあるいは部屋の隅々に点染して、ややもすれば住む人の心を圧迫する追憶もまた存しないのである。

西洋の真摯な建築家に最も大きな影響を与えたところのものは主としてこれであった。ヨーロッパおよびアメリカにおける現代的な室内建築は、その沿革を実に日本に求めたといつてさしつかえない。

<欄間・らんま>

天井と鴨居（かもし）との間に、格子（こうし）や透かし彫りの板などを取りつけた部分。採光通風などのためのもので、装飾を兼ねる。

<諦観・ていかん>

全体を見通して、ものの本質を見きわめること。

<捏粉・こねご>

小麦粉に水を入れてこねたもの。

※引用のため、一部文章を変更している。

ブルーノ・タウト著、篠田英雄訳 『日本美の再発見』岩波書店 1939年より

模擬問題 2 ※この問題は平成29年度一般入学試験〔前期日程〕で使用された問題を一部改編したものです。

現在の主な自動販売機は、ボタン1つに対して1つの商品を割り当てており、ボタンと商品の関係は1:1になっている。このやり方では商品が増えれば増えるほどボタンの数も増えていくため、扱える商品数には限界がでてくる。このため、現状の自動販売機では20～40程度の商品を扱うものが多い。(右図参照)

ここで、日本において販売されている主要な飲料(100種類以上のペットボトル、缶)を販売する近未来の自動販売機を考えてみることにする。

押しボタンではなくタッチパネルを搭載し、その他に商品取り出し口、コイン投入口、お札投入口、釣銭返却トレイ、電子マネー(*1)読み取り部が前面に配置されている。タッチパネルには商品の写真や説明文、価格などの他に、操作のためのボタンを表示する。ユーザーの操作は、選択のためにタッチパネルに表示されたボタンをタッチするだけとし、マルチタッチやドラッグ、スワイプ、ピンチなどの操作はできないこととする。

この自動販売機のタッチパネルのデザインを、どのようにしたら快適に楽しく100種類以上の商品から望むものを選び購入できるだろう。以下の指示に従い、あなたの考えを述べよ。

- ① デザイン提案の基本となるユーザーの行動(商品を探し、選択し、商品を取り出すまで)について400字以内(句読点は文字数に含む)で述べよ。
- ② 自動販売機のタッチパネルのデザインに必要な要素について、①で述べたユーザーの行動の観点から考え、400字(句読点は文字数に含む)以内で説明せよ。

解答用紙上段(16行目まで)に①を記述し、下段(17行目以降)に②を記述すること。なお、必要に応じて図を使って補足しても良いが、解答用紙の50%を超えてはならない。

* 1 楽天Edy、WAON、Suica、nanaco、PASMOなど(発行枚数順)



入学試験に関する問い合わせ
長岡造形大学 入試課

[受付時間] 月～金 8:30～17:00 (土・日・祝を除く)

[大学休業期間] 平成29年8月11日(金)～平成29年8月20日(日)
平成29年12月28日(木)～平成30年1月3日(水)

〒940-2088 新潟県長岡市千秋4丁目197番地

Tel. 0258-21-3331 Fax. 0258-21-3343

E-mail nyushi@nagaoka-id.ac.jp



公立大学法人

長岡造形大学

Nagaoka Institute of Design